

朝来市地域ケア会議の活動報告（地域ケア個別会議：個別課題を扱う会議体） 2025年2月21日資料

N0	会議体	目的・目標 (介護保険事業計画)	開催実績（4月～1月）	目的に向かって前進したこと	さらなる課題	今後の予定
1	向こう三軒両隣会議 事務局 北野留美 足立里江	【介護保険事業計画 P64】 ①ケアマネジャー・相談 支援専門員・地域住民 との連携の促進 ②地域ケア会議の推進	朝来市地域包括支援センター 24回 生野地域包括支援センター 22回 高齢者相談センター（4か所）46回 <u>合計88回</u> ※令和5年度 52回 A アルツハイマー型認知症、若年性認知症など進行する 認知症への対応 B 一人暮らしの高齢者支援（見守りや参加等） C 身寄らない人への支援（成年後見制度の手続き）	◎ケアマネジャー・相談支援専門員の座談会、 研修会を実施（3月予定） ◎朝来市広報にて、向こう三軒両隣会議につい て周知 ◎高齢者相談センターの向こう三軒両隣会議 を推進できた ◎向こう三軒両隣会議の 21％に民生委員が 参加した。	◎向こう三軒両隣 会議の更なる開 催推進 ◎生活困窮に関す る事例 29％ ◎施設入所に関す る事例 29％	◎令和7年度 高齢者相談センターに対す る向こう三軒両隣会議開催 支援制度の創設
2	ケアマネジメント 支援会議 委員長 兼末佳代子氏 事務局 北川慎一 足立里江	【介護保険事業計画 P68】 ①より質の高いケアマネ ジメントの推進 ②スーパービジョンの体 制づくり	◎ケアマネジメント支援会議開催 合計 27 回 ・居宅介護支援事業所 19 回 ・地域包括支援センター主催 8 回 ◎ケアマネジメント支援会議を通じた評価シート ・193 件（出席者全員がその都度評価シートを記入） ◎スーパービジョンの実施 14 回 ◎要支援 1，2 のモデル利用者を選定し、生活状況等のデ ータを収集した結果、過去 1 年間の転倒率が 47％もあ り、その背景に 6 か月間の体重減少（14％）や、毎日食 べている物はお菓子（89％）、半年前に比べて固いものが 食べにくい（41％）という状況であることが分かった。	◎スーパービジョンを受けたことに対するス ーパーバイザーの自己評価が昨年度より上 昇した（2.9➡7.0） ◎介護予防ケアマネジメントについて、市内管 理栄養士、兵庫県立大学林知里教授から講義 をもらい、重要な介護予防の視点を共有 し、ケアプラン点検に活かした。	◎ケアマネジャー のニーズ把握率 が栄養 55％、口 腔 33％と低い。	◎令和7年度、8年度も継続 的にモデル対象者の生活状 況データを取得し、朝来市 の介護予防リスクを洗い出 す予定。 ◎令和7年度、栄養・口腔に 主軸をおいたケアプラン点 検に着手する。
3	虐待事例への対応 （虐待防止ネット ワーク委員会） 事務局 山口小百合 藤原正浩	【介護保険事業計画 P78】 ①虐待の予防と早期発見 ②虐待対応の体制整備	虐待コア会議 27 回開催 （実件数 14 件） ◎保護措置 A 氏：養護者が認知症の本人に包丁をつきつけて威嚇 B 氏：ご本人の年金を家族が使い込み、サービス費を半年 以上滞納、食事が十分に食べれていない C 氏：本人から養護者への暴言により、養護者が幼少期に 受けた虐待がフラッシュバックし精神的に追いつめら れた	◎ケアマネジメント部門への周知、早めの通報 を依頼した （9 月・11 月に虐待研修会実施） ◎朝来市広報へ高齢者虐待に関する記事を掲 載（7 月）	◎生活困窮の事例 が増えており、 サービスが十分 に利用できない ◎家族関係が悪化 している。 ◎関係機関との連 携、見守り体制 づくりが重要。	◎第一発見者（ケアマネジャ ー、警察）から早期に情報が もらえるよう連携を強化す る。 ◎ホームページ及び LINE を 活用した啓発活動を継続す る。